

## Anti human EDG3/S1PR3 mouse monoclonal antibody(ProteinA purified)

S1PR3 :Sphingosine-1-Phosphate Receptor 3

製品コード PP-AS55-0C

Clone No. AS55

Lot. B-1

濃度 1 mg/mL

容量 100  $\mu$ L

Ig class G2a

Nomenclature

Genbank NM\_005226.4

**由来** ヒト S1PR3 (2~330 aa) を卵黄レシチン／モノホスホリルリピド A (20 : 1) リボソームに再構成した抗原で免疫したMRL/lprマウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞(NS-1)を融合して得たハイブリドーマを、無血清培地中で培養した上清。

**特異性** ヒト S1PR3 と特異的に反応する。その他の動物種との交差反応は未検討。

**精製法** アフィニティークロマトグラフィー

**溶媒** 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN<sub>3</sub>添加)

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用するできます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

**Application** 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

**Western Blot** 不可  
参考使用濃度

**非還元 Western Blot** 未検討  
参考使用濃度

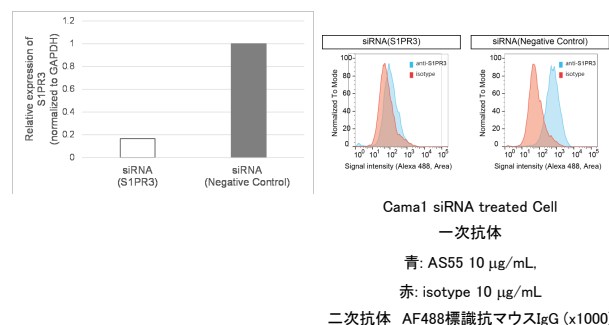
**ELISA** 未検討  
参考使用濃度

**免疫沈降** 未検討  
参考使用濃度

**Supershift Assay** 未検討  
参考使用濃度

**Flow Cytometry** 可  
参考使用濃度 5-10  $\mu$ g/mL

**免疫染色** 未検討  
参考使用濃度



**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8℃で保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20℃以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献** Maeda S, *et al.* Sci Adv. 2021; 7(24): eabf5325

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

MADE IN JAPAN

Oct 29, 2025